

研究協力のお願い

この研究は、大阪大学が主管となり、本学は共同研究機関として参加する多施設共同研究となります。大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくて実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院

中央検査部

記

課題名	血小板を用いた後天性骨髄不全症候群の疾患鑑別法および骨髄造血能評価指標の確立
対象	2021年4月から2026年3月までの期間に診療目的で受診された患者さんの検査終了後の残余検体を研究に利用いたします。本学では、500例（研究参加施設全体で500例）を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2026年3月31日
研究の目的 及び意義	骨髄不全症候群（BMFS）は汎血球減少症を呈する造血器疾患であり、診断および治療の経過観察において骨髄穿刺および骨髄生検という侵襲が強く患者さんの負担が大きい検査が必要不可欠です。そこで本研究は、末梢血の血小板情報を用いた後天性 BMFS の早期診断および疾患鑑別法を見出し、血小板を用いて骨髄造血能を把握する指標を確立し、侵襲の少ない簡便な検査法の開発を目的としています。
研究の方法	診療のための検査依頼のあった患者さんの残存検体を使用し、フローサイトメーターや質量分析装置、自動血球分析装置を用いて血小板の機能や構造を測定します。得られた結果を、共同研究機関である大阪大学大学院予防診断学講座の研究室にて解析して BMFS に特徴的な知見があるか確認し、臨床検査に応用できるか検討します。

将来の研究のために用いられる可能性について（二次利用）

この研究にて取得しました試料・情報は、厳重な管理を行い、研究以外の目的では利用いたしません。

個人情報等の取り扱いについて

個人情報から特定の個人を識別することができる情報を削除し、匿名化したうえで、この研究の成果を学会や論文等で公表します。対象者の個人情報については、中央検査部のパソコンに匿名化した状態で保管、個人を特定できる情報を削除して取り扱います。

対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の相談窓口までご連絡ください。

【個人情報の取り扱いに関する相談窓口】

担当者 榎谷 亮太

連絡先 072-683-1221（代） 内線3303

利益相反について

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、この研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名

【研究責任者】

中央検査部

主任

榎谷 亮太

【研究分担者】

中央検査部 部長 大坂 直文

中央検査部 技師長 久保田 芽里

共同研究機関

大阪大学 生体病態情報科学講座 教授 渡邊 幹夫

参加拒否の申し出について

ご自身の既存試料・情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除及び利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

連絡先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院 中央検査部

担当者 榎谷 亮太

連絡先 072-683-1221（代） 内線3303

大阪大学

担当者 渡邊 幹夫

連絡先 06-6879-2596